＊タバコの誤飲

毒性が高い

水に浸っていたタバコ
タバコの浸っていた液を飲んだ

↓

すぐに受診を勧める

毒性が低い

乾いた(濡れていない)タバコ
2cm未満

↓

30分前後から4時間以内に
吐く
吐き気がする・
顔色が悪い
普段とちがって不機嫌
があれば、受診。

4、5時間以上経過して
無症状なら
まず安心
ニコチンは24時間で
すべて体外に出る
ので、1日たって
異常なければ心配
なし

保管上の注意

聞かれた時以外、話題にしない

＊誤飲（薬物など）

何を、どれだけ、いつ、症状は？

1. 毒性の確認
2. 症状の確認
3. いつまで、気をつければいいいか

中毒情報の表参照。

３．いつまで、気をつけるかに関して

表中に記載がなく、家庭で様子を見る場合

毒性に問題の無い場合は1日でよい。

迷う場合は『数日間は少し気をつけて様子を見る』こととする。

＊予防接種

1. 副作用とそのときの対処方法・その他困ったこと

考え方:保護者の心配の仕方や考え方によるが、

重い副反応は非常にまれなので、まずは慌てないようにする。

保護者に言える雰囲気であれば、「本当に病気をしたときに比べ軽く済むために接種しているので、何も起こらない方がいいが、反応が起こることはある」と伝えてもよい。

軽い副反応：発熱、接種部位の発赤、腫れ、痛みなど。続くようなら通常の時間帯に、接種医や保健所・保健センターに連絡するよう助言する。・・・今後の参考のため。

重い副反応：全身の蕁麻疹や痙攣、意識障害など。医療機関を必ず受診するよう助言する。

2. 予防接種別の説明

①BCG

入浴はいつもどおりでかまわない。接種した部位を強くこすらないようにする。

1か月くらいすると、接種したところが赤くはれてくるのが普通の反応。

接種部位をなめた・・・問題なし。

接種部位が乾く前に触った・・・問題なし。

発熱、接種部位の化膿:**軽い副反応**として、そのまま様子をみる。

1週間以内に接種部位が赤く腫れる・接種側の腋の下が腫れる

:**重い副反応**として、痛がる場合か、やぶれて膿が出てきたら診察時間内に小児科受診。

②ポリオ

便を処理したあとは手洗いをしっかり行う。

吐いた・・・ワクチンを飲んで30分以上たっていたら、ちゃんと接種できている。

下痢(よくある)、発熱(少ない)など:**軽い副反応**としてそのまま様子をみる。

下半身の麻痺(接種後1か月以内、450万回に1回と極めてまれ)

:**重い副反応**と考えられ、受診を勧める

※接種を受けていない保護者に麻痺(540万回に1回程度と極めてまれ):受診を勧める

③三種混合（DPT、ジフテリア・百日せき・破傷風）

決められた回数を受けることが大切。

接種部位の腫れ、発赤、しこり（よくある）、発熱（よくある）など：**軽い副反応**として様子をみる。

腫れが肘を越えるほど広範囲の場合：**重い副反応**として、近日中に予防接種をした医師に伝える。

注射部位が赤くなった・腫れている・しこりがある：初回20％、3回目40～50％

急いで受診する必要はなし。

保冷剤・冷湿布・冷却シートなどで冷却して様子を見る。

腫れがひどいようなら入浴をひかえるが、通常特に生活はいつも通りでよい。

1回出ると2回目以後も出るので、腫れがひどい場合はかかりつけ医に相談。

しこりは少しずつ小さくなるが、数か月残ることもある。やがて消える。

④MR（麻しん・風しん）ワクチン

発熱：接種後7～10日頃に多い。20％が37.5℃以上、数％が38.5℃以上に。1～2日で下がる。

当日の発熱はない。アレルギー反応があれば、1日以内に出ることもありうる。

発疹：接種後7～10日頃に多い。10～20％に発疹。1～2日で消失。

・・・以上**軽い副反応**としてそのまま様子を見る。

アレルギー反応：接種直後に発赤・腫れ・じんましん・アナフィラキシーショック

1日以内に、全身や四肢の一部に発疹

・・・直後のアナフィラキシーショックはすぐ受診。それ以外は状態により判断する。

接種部位の反応：発赤・腫れ

関節痛：接種後7～10日頃に多い。頻度は4％以下。

リンパ節の腫れ：接種後7～10日頃に多い。頻度は4％以下。

・・・以上、そのまま様子を見る。

熱性けいれん：200人～300人に1人　発熱時のけいれん。

・・・けいれんに準じる。

⑤インフルエンザ

重い卵アレルギーがあれば接種を受けることはできない。

アナフィラキシーショック:接種30分以内

・・・あれば、その時点で受診。

過敏反応:直後～数日中に発疹・じんましん・紅斑・かゆみ

発熱・悪寒・頭痛・だるさなど:24時間以内に。2～3日で消える。

接種部位の発赤・腫れ・痛みなど:24時間以内に。3日で消える。

・・・以上、**軽い副反応**として、状態によって受診または様子を見る。

痙攣、広範囲の蕁麻疹、意識障害などは**重い副反応が考えられるとして、すぐ受診を勧める。**

⑥おたふくかぜ

耳下腺の腫れ:2－3%に、接種後2～3週で腫れが出る。数日で消失。

発熱:

・・・**軽い副反応**として、そのまま様子を見る。

痙攣、意識障害、強い頭痛、繰り返す嘔吐(髄膜炎の疑い)など、**重い副反応が考えられる**として受診を勧める。

(**無菌性髄膜炎**:数千例に1例。接種後2-4週で発熱・嘔吐・頭痛など)

⑦みずぼうそう　**軽い副反応**として、発疹など・・・そのまま様子をみる。

⑧日本脳炎ワクチン

発熱:1%以下。2週以内に出る。

発疹:1%以下。2週以内に出る。

接種部位の腫れ・発赤・痛み

・・・以上、**軽い副反応**としてそのまま様子を見る。

痙攣、意識障害など・・・**重い副反応**と考えられ、受診を勧める

⑨ヒブワクチン（アクトヒブ）

インフルエンザ菌b型の重症感染症を予防するワクチン

乳幼児の細菌性髄膜炎、急性喉頭蓋炎（クループ）の予防を目的としている。

接種方法

生後2か月から接種する。3週間から8週間の間隔で3回、概ね1年後に1回追加

生後7か月から接種する場合は、2回＋1年後1回

1歳を過ぎて接種する場合は、1回だけ接種

乳児の場合、三種混合と同時に接種することも可能

副反応は、発熱と接種部位のしこり・発赤などで、特別な処置を必要としない。

不活化ワクチンのため、異なる種類の予防接種は1週間後から接種可能。

現時点では、接種してくれる医師を探すこと。そこで詳しい説明を受けるよう助言する。

3. 接種前に気になること

受けることができない場合

・明らかに発熱がある：接種会場で測定する体温が37.5℃以上。

・重い急性の病気にかかっている。

・受ける予定のワクチン成分によって、アナフィラキシー反応（重症の即時型全身アレルギー反応）を起こしたことがある：

（アレルギー反応があってもアナフィラキシーでなければ接種できる）

・前回の予防接種から一定の期間が空いていない：

生ワクチン接種後4週間以内、不活化ワクチン接種後1週間以内。

※生ワクチン：BCG、ポリオ、MR、麻しん、風しん、おたふくかぜ、水痘など

※不活化ワクチン：DPT（三種混合）、日本脳炎、インフルエンザ、B型肝炎、ヒブなど

・感染症治癒後一定の期間が空いていない：

麻疹1～2か月、　水痘・おたふくかぜ・風疹など：2週～4週間、

突発性発疹・手足口病・ヘルパンギーナなど：1～2週間

避けた方がいい場合：迷う場合はかかりつけ医と相談

・1週間以内に高熱・嘔吐下痢・全身の発疹などの病気をした場合

・1か月以内に入院するような病気をした場合

・風邪などのひきはじめと思われる場合

医師と相談した方がいい場合

・発育が悪いと言われている場合

・以前に予防接種を受けたとき、2日以内に発熱・発疹・じんましんなどが出た場合

・薬を飲んで、発疹や体の異常が出たことがある場合

・今までにけいれんを起こしたことがある場合

・卵・抗生物質などにアレルギーがあるといわれたことがある場合

・家族や遊び友だち、クラスなどで、麻しん・風しん・おたふくかぜ・みずぼうそうなどが流行しているとき

参考文献

予防接種ガイドライン　http://www.mhlw.go.jp/topics/bcg/guideline/1.html

予防接種リサーチセンター　2008年

＊薬に関して

1．家にある薬を飲ませたい・使いたい

・解熱剤の座薬・・・ここ1年間に処方してもらったもので冷所保管できていたなら使用してよい。

投薬の目安は、発熱の対応の箇所に記載を参考に確認。

鎮痛剤としても使用できる。

・病院で過去にもらった薬・・・その時、その病状に合わせて処方されているので、使わない。

・市販薬・・・症状・使用量について説明をよく読んで、それに従う。

2．きょうだいの薬を使いたい

・解熱剤の座薬・・・ここ1年間に処方してもらったもので冷所保管できていたなら、

使用してよい。

投薬の目安は、発熱の対応の箇所に記載を参考に確認。

鎮痛剤としても使用できる。

・病院で過去にもらった薬・・・その時、その子どもの病状に合わせて処方されて

いるので、使わない。

・市販薬・・・症状・使用量について説明をよく読んで、それに従う。

医師による投薬は、病状に合わせて市販薬より高濃度で処方されている場合が多い。副作用も起こりにくいように考えて出されているが、もし副作用が出ても医師が責任を持ってそれに対応することが前提になっている。というように、その時、その子の病状に合わせて出されているので、診察をして処方しないと責任を持てない。

夜間の電話相談では、夜間を過ごすための対処療法の助言や、保護者が自分の責任のもとに服用させている市販薬の相談はできるが、治療薬の指示はできない。家庭内でのケアを助言し、治療薬の必要があると思われる場合は、受診を勧める。

3. 薬の保管

病院・医院でもらった薬

座薬：冷蔵庫保管で約1年間

水薬・シロップ：冷蔵庫でも約1週間

（抗けいれん剤などが単剤で処方されている場合はもっと長い）

粉薬：湿気や直射日光をさけて、約1か月～3か月

メーカーの包装の場合、約6か月

軟膏・クリーム：

容器入り：湿気や直射日光をさけ汚さず使用すれば長期保存可能。使う前に分離していないかなど性状を確認する。

チューブ：湿気や直射日光をさけ汚さず使用すれば、使用期限まで使える。

カプセル：湿気や直射日光をさけて、約1年間。

点眼薬：開封後1週間

市販薬

水薬・シロップ：瓶の口を汚さないように使い、直射日光を避け涼しい所に保管してあれば、約3か月

粉薬：封をしてあれば、期限内。湿気や直射日光をさける。

4. 坐薬が出てきた・薬を吐いた

直後

・・・・再度同じ量を使用

30分以内、見た目に結構出ている場合

・・・・解熱剤の座薬の場合、1時間見て下がらないときは再度同じ量を使用。

１０分以後で、形が溶けている場合は、ある程度吸収されていると考える。

30分以後

・・・ほぼ吸収されていると考える。

5. 他の薬といっしょに飲んでもいいか・飲み合わせ

同じ系統の薬は避ける：解熱鎮痛薬の経口と座薬など

薬剤の表の相互作用を参照

6. 薬の誤飲（量を間違えた・他者の薬を飲んだ）

薬剤の表の中毒量を参照

風邪薬・抗菌薬・整腸剤などでは、出された投与量の３～５倍程度を１回だけ飲んでも、ほとんど中毒量に達しない。

１～３時間で最高血中濃度に達するので、この間注意深く様子を見て特に変わりがなければ大丈夫。吐き気・嘔吐・顔色不良・その他中毒症状があれば、受診。

その後夜間は服用しないので朝は通常通りよいが、気になる場合はかかりつけ医に翌日問い合わせてから、服用を決める。

成人の薬を間違えて飲んだ場合、感冒薬などでは上記と同様でよいが、抗精神薬やその他特殊な薬の場合は受診を勧める。

7. 薬が飲めない

乳児：粉薬を上あごやほっぺの裏側に塗る。あるいは、スポイトで垂らす。

幼児：混ぜる場合

薬と相性が良く、飲みやすいもの

バニラアイス・チョコアイス：15分～30分ほど室温においてやわらかくなった状態のものに薬を混ぜ込む

コンデンスミルク・練りチョコ・ケーキシロップ・牛乳・コーヒー牛乳・ココアなど

薬と相性が悪く、すすめられないもの　（飲ませても悪くはない）

ヤクルト・マミーなどの乳酸菌飲料・ヨーグルト・フルーツゼリー・マックシェイク・ジュース・スポーツドリンク

対症療法の場合は、どうしても無理なら止めて、ケアする。

抗生剤の場合は、できるだけ飲ませるが、無理なら止めて翌朝かかりつけ医に連絡し、座薬などに変更可能か問い合わせてもらう。

8. 薬を飲み忘れた

できるだけ早めに飲ませる。食前・食後はかまわない。

次は、飲んだ時間帯に合わせて決める。

１日２回の薬：約１２時間後（１０～１４時間後でよい）

１日３回の薬：６時間は間隔をあける。（６～１０時間後でよい）

9. 授乳中の服薬

服用できる薬

病院・医院で授乳中と伝えたうえで処方された薬

風邪薬・・・・２，３日なら問題なし。それ以後は受診を勧める。

解熱・鎮痛薬・・・数回なら問題なし。それ以後は受診を勧める。

抗生剤・抗菌剤・・・ペニシリン系・セフェム系・マクロライド系・ホスホマイシン系

胃腸薬・・・２，３日なら問題なし。

乳酸菌製剤（ビオフェルミンなど）は、母乳に移行しない。

ロートエキスは長期連用を避ける。

ビタミン剤・・・長期連用を避ける。

漢方薬・・・・・長期連用を避ける。複数を飲むことも避ける。

アレルギーの薬・・・母乳への影響はほとんどなし。

薬を飲んだあと30分～2時間ぐらい血中濃度が高く母乳に移行しやすいので、気になる場合は授乳後に服用して、次の授乳までの時間を空けると移行率は少ない。

授乳中に飲んではいけない薬

テトラサイクリン系抗菌剤・ST合剤

抗がん剤

免疫抑制剤

自律神経薬

催眠鎮静剤

筋弛緩薬

脂溶性ビタミン剤

高脂血症治療薬

利尿剤

抗精神薬

以上は服用を避けるか、ミルクにする。 薬剤によっても違うので、医師の指導に従う。

参考:授乳中の母が病気をした場合

母乳は無菌であり、母乳を通じて感染する可能性はきわめて低い。のどの菌が空気を通して感染する飛沫感染は起こるが、これは母乳でもミルクでも可能性は同じ。

10. 小児では使わない薬

解熱鎮痛剤・・・ポンタール・ボルタレン

＊登園・登校の目安

保育所・幼稚園への出席停止期間は地域性もあり、病院や医師、保育所・幼稚園によって少し差がある。一応の目安としてあとはそれぞれの保育所や医師の指示に従う。

1. 休んできちんと治し、**登園再開の時に登園(所)届や証明書が必要な**ことがある。

↓

インフルエンザ・百日咳・麻しん・おたふくかぜ・風しん・水ぼうそう・結核・
プール熱(咽頭結膜熱)・流行性角結膜炎・腸管出血性大腸菌感染症(O-157)・
細菌性赤痢・腸チフス・コレラなど

2. 休んできちんと治し、医師から登園できるか聞いてから登園する。

↓

溶連菌感染症・ロタウイルスなどの感染性胃腸炎・マイコプラズマ感染症・ウイルス肝炎・
広い範囲のとびひ(伝染性膿痂疹)

3. 本人の症状が軽く、元気であれば登園はできる。でも病名は伝える。

↓

手足口病・ヘルパンギーナ・りんご病・とびひ(伝染性膿痂疹)など

4. 休まなくていいが、広がらないように対応が必要なので、病名を伝える。

↓

しらみ・疥癬・ぎょう虫・水いぼなど

これ以外に隔離の必要な病気はその指示に従う。上記の病名と対応は学校保健法などの規定に基づいて主な病気を分けている。

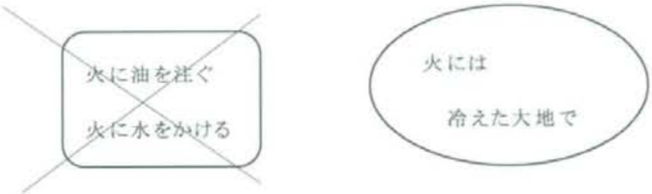
＊怒りの電話・トラブルになりそうな時：

争っても仕方がないので、ひたすら低姿勢で、何に怒っているのかをできるだけ聞き出す。
対応できればいいが、難しそうな場合は、さとられないように、できるだけ早めに電話を切る。
自分が最後の砦と頑張らない。電話でできる精一杯のことをしているので、できないものはできないと心の中で開き直る。

「医師を呼べ！」⇒医師に転送

「責任者を出せ！」⇒今はいない。翌日大阪府医師会に。

対応の
考え方として



「自分の対応が悪かったために、相手が怒った」と一人で抱え込まない。
明らかにケンカを打ってくる以外はどんな場合でも、トラブルは相手の思いとすれ違ったために起こるので、すれ違いを検討することが次につながる。研修会などの検討事項にあげて、対応策を共有することが大事。

怖い思いをしたときは、電話相談仲間か看護協会に話を聞いてもらって、自分の気持ちを維持することも大事。

＊アドバイスを聞きいれようとしない時

電話を受ける側が伝えたいことを一時置いて、保護者の思いや心配を聞くことに徹する。
「こちらの言うことを聞かない」「しつこく、ねばる」というときは、発想を切り替えて

「一体、何が心配なのか」

「何にこだわっているのか」

「本当に聞きたいことは何なのか」

「どういう答をもとめているのか」

などを探って受け答えする。 多少時間が長引くが中途半端で終わるより長い目で見てプラスになる。アメリカなどの救急電話相談の対応時間は平均6分であり、5～10分時間をかけるつもりでゆっくり聞く。ただし、心の相談や精神的な問題がありそうな場合は、他の電話相談を紹介して切る。

＊救急受診時の対応の悪さについてのクレームの対応

争っても仕方がない。医療機関のかばいあいと思われてもややこしい。とにかく、何に怒っているのか、どういう期待をしていたのかを、保護者側に寄り添うつもりで聞く。例え明らかに保護者側の言い分が理不尽でも、話を聞き終わるまでに反論をしない。気分を荒立てない程度に説明を加えてもよいが、常にその説明に対して保護者がどういう感情を持つのか反応を見る感じで話して言い分を聞く。

われわれ医療関係者として、気をつけていきたいことと思える内容であれば、そのように伝える。
しかし、申し訳ないがこの電話は受診機関と直接のつながりはないので、話を聞くことはできるが、
受診機関には伝わらないことを、適当なタイミングで伝える。

おさまらない場合は、市町村の行政の相談窓口か医療機関の窓口、保健センターへの問い合わせなど、どこにクレームを持っていけばいいか伝える。

いちゃもんに近いものは、「このやり取りは録音されているので、あとで府医師会が聞いてくれる」と
相手に有利な言い分でさりげなく録音の事実を伝える。

参考文献

1. 電話救急医療相談プロトコール　日本救急医学会監修　へるす出版　2008年
2. 子どもの救急相談対応ガイド　平林優子監修　へるす出版　2008年
3. 小児救急看護支援ガイドライン　神奈川県看護協会編集発行　2006年
4. 大阪府小児救急電話相談マニュアル第一版　大阪府　大阪府医師会　大阪小児科医会　大阪府看護協会　2007年
5. 子どもの応急処置マニュアル　大塚敏文監訳　南江堂　2003年
6. 埼玉県立小児医療センター電話応対マニュアル　埼玉県立小児医療センター編　2008年
7. こどもの救急　おかあさんのための救急＆予防サイト　日本小児科学会監修　2008年
8. お母さんに伝えたい子どものくすり安心ガイド第2版　日本外来小児科学会編著　2005年
9. 小児薬物療法ハンドブック　吉田一郎編著　2001年
10. 知っておきたい病気とケガの対応　大阪小児科医会プライマリケア部会編　2005年
11. 予防接種ガイドライン　http://www.mhlw.go.jp/topics/bcg/guideline/1.html

予防接種リサーチセンター 2005年

12. Web小児科 子どもの病気相談所 こどものお薬

http://hukumusume.com/my_baby/sick/pc/kusuribako/index.html

13. 中毒データベース検索システム

https://center.umin.ac.jp/cgi-open-bin/hanyou/lookup/search.cgi?parm=POISON

物	商品名	毒性	してはいけないこと	処置	症状	いつごろ	いつまで
食品保存剤 脱酸素剤	エージレス オキシーター サンソレス セキュール	低い (゜o゜) (気になる 場合 受診)	特になし	特になし 水分を取る	1袋では無症状 大量では嘔吐・下痢	直後～3時間	消化管刺激だけと考えられるので翌日には改善
鮮度保持剤	アンチモールド102 オイテックL						
酸素検知剤	エージレス・アイ セキュールK						
シリカゲル	トーカイゲル フジゲル など	低い (゜o゜) (気になる 場合 受診) ほぼ吸収されない	特になし	特になし 水分を取る コップ半分くらいの水を飲ませる。 流水で洗眼	小さな包装単位の量なら中毒の心配なし 大量では嘔吐・下痢 まれに口や食道壁に炎症 目に入ると刺激に	直後～8時間 直後～30分 直後～30分	症状出るなら24時間以内 3日で便に出る 洗い流せばあとは炎症のおさまるのを待つ
生石灰 (酸化カルシウム) 水に触れて熱を発生	シケナイ強力乾燥剤 スーパードライ パリットファイン ライムなど	すぐ水洗い 食べた・症状ある場合受診 なめた・ 皮膚についた 程度で 無症状なら 受診せず 様子を見る	吐かせてはいけない	口の中をよく洗い、うがいをさせる。 牛乳をコップ1杯飲ませ、受診 眼は、 すぐに15分以上流水で洗眼	口の中、のどがただれる痛み 胃の灼熱感、ただれ、出血など 眼に入ると痛みやただれ。最悪の場合失明も。	直後 ～24時間	ただれの程度による
化粧水 ノンアルコール	ピジョンベビー ローションHA マンダリンウォーター レモンローションC ワ-ゼルIMローション など	(゜o゜)	特になし	特になし	中毒の心配なし		
化粧水 一般的な **アルコール入り** (エタノール) ローション	ヘチマコロン クインテス スキンローション ちふれソフト スキンローション など	アルコール 中毒の可能性 少量なら 水分を飲ませる 症状がある・ 大量に飲んだ 場合は受診	特になし	少量なら 水分を飲ませる 眼に入ったら 流水で洗う	顔が赤い・ふらつく 吐く・苦しそう 眼に入った場合は 痛み・刺激感 充血	30分～ 3時間	
ひげそり用 ローション (エタノールの量が多い)	アウスレーゼアフターシェーブローション マンダムプレシェーブローションM サクセスプレシェーブローション など	アルコール 中毒の可能性 1口以上 飲んだ場合 受診 眼に入ったら 流水で洗い、 受診	特になし		顔が赤い・ふらつく 吐く・苦しそう 眼に入った場合は 痛み・刺激感 充血	30分～ 3時間	

物	商品名	毒性	してはいけないこと	処置	症状	いつごろ	いつまで
化粧品のクリー	アトリックスハンドクリーム アノンコーワクリーム ヴァセリンハンド アンドネイルクリーム おやすみハンド コラージュクリーム ザーネクリーム セナスキンクリーム ニベアクリーム ベナテンベビークリーム ポンズコールドクリーム ユースキンクリーム 水仕事その前に など	少量では 問題なし 大量や 症状がある場合 受診	特になし	水分をとらせて 様子をみる	大量では 悪心・嘔吐・下痢など	直後～ 数時間	
薬用クリームで カンフル入り （成分表示で 確認）		1口(5g)以上 食べた場合 容器持参し 受診	牛乳はダメ 吐かせない	なめただけなら 水分をとらせて 様子をみる	悪心・嘔吐・下痢など	5分～90分	
口紅		少量では 問題なし 大量や 症状がある場合 受診	特になし	水分をとらせて 様子をみる	吐き気・嘔吐・下痢な	直後～ 数時間	
香水 エタノール含量: 60～70%	香水類 オーデコロン オードトワレ オードパルファム シャワーコロン パルファンドトワレ フレッシュコロン など	なめた程度なら 大丈夫 1口（5ml）以上 飲んだ場合 すぐ受診 眼に入ったら 流水で15分間 洗い、痛みや 充血あれば、 受診	特になし	なめただけなら 水分をとらせて 様子をみる	顔が赤い・ふらつく・嘔 重症では、体温低下・ 意識がなくなる エタノール含量:60～70%	30分～ 3時間	
マニキュア液 除光液 成分に有機溶剤		マニキュア液3ml 除光液1ml でも、飲んだら すぐ受診 蒸気を吸いこんだ ・眼に入った・ 皮膚についた 場合は、症状が あればすぐ受診	吐かせない	蒸気を吸いこんだ 場合は、新鮮な 空気を吸わせて 様子をみる 眼に入ったら 流水で15分以上 洗う 皮膚についた場合 石鹸でよく洗う。	のどの痛み・吐き気 嘔吐・頭痛・ふらつき 気管に入ると、激しい咳 肺炎の可能性 蒸気により眼やのどに 痛みも 長期間吸入すると 飲んだときと同様の症状 皮膚に長時間付着で 皮膚炎	直後～	
日焼け止め 化粧品		なめた程度なら 様子をみる 2g以上食べる、 症状があれば、 受診			大量で 吐き気・嘔吐・腹痛 発熱・痙れん・過呼吸 血液の異常		15時間～ 30時間
脱毛剤		危険！ すぐ受診	吐かせない	牛乳コップ半分位 飲ませて受診	口の中～のどの痛み 嘔吐・腹痛・下痢	直後～	

物	商品名	毒性	してはいけないこと	処置	症状	いつごろ	いつまで
シャンプー	一般的 アクアミー エッセンシャル リーゼ など フケ取り エメロンエチケット 花王メリット など トニックシャンプー 花王トニック サンスタートニック ストロング など ベビーシャンプー 花王ベビーケア サンスターこども など	少量では 問題なし 1口（5ml）以上 受診 眼に入ったら 流水で15分間 洗い、痛みや 充血あれば、 受診 通常の誤飲程度 では重い中毒なし	特になし	少量では 牛乳や卵白を 飲ませて様子を 見る	口の中やのどの痛み 吐き気・嘔吐・下痢・ 腹痛・おなかが張る しゃっくりなど	1～2時間 以内	
ヘアリンス	アクアミー コンディショニングリンス エッセンシャルリンス エッセンシャル キューティクルリンス エメロンクリームリンス エメロンエチケット リンス エメロンアクアミー リンス 他コンディショナー など	少量では 問題なし 大量では 受診 眼に入ったら 流水で15分間 洗い、痛みや 充血あれば、 受診	特になし	牛乳を飲ませる	のどの痛み・吐き気・ 嘔吐・下痢 大量では低血圧 不安・けいれん・ 呼吸困難	25分以内	
ヘアトニック エタノール含有 30~90%		なめた程度なら 問題なし 大量では 受診 眼に入ったら 流水で15分間 洗い、痛みや 充血あれば、 受診		少量なら 水分を飲ませる 眼に入ったら 流水で洗う	顔が赤い・ふらつく 吐く・苦しそう 大量で発熱・耳鳴・ けいれん・腎障害 眼に入った場合は 痛み・刺激感 充血	30分～ 3時間	15時間～ 30時間
パーマ液	ベネゼルおしゃれ パーマ ベネゼルフリーリィ コールド など	危険！ 1・2剤ともに すぐ受診 受診の際は 成分表示のある 容器を必ず持参 眼に入ったら 流水で15分間 洗い、すぐ受診 皮膚についた 場合、 症状あれば受診	1剤は 吐かせない	牛乳コップ半分位 飲ませて受診 2剤は、 水か牛乳を 飲ませ、 できれば吐かせて 受診 皮膚を石鹸でよく 洗う。	口の中～のどの痛み 嘔吐・腹痛・下痢 嘔吐・腹痛・下痢 大量では腎障害や 聴力障害 痛みや赤み	直後～	

物	商品名	毒性	してはいけないこと	処置	症状	いつごろ	いつまで
染毛剤 髪染め 永久染毛剤	1剤式 パオン ビゲン カネボウファッションカラー 2剤式 VO5ヘアカラー カネボウファッションカラー パオンクリームカラー ビゲンヘアカラー	1剤式 2剤式の第1剤 危険！ すぐ受診 眼に入ったら 流水で15分間 洗い、すぐ受診 皮膚についた 場合、 症状あれば受診 2剤式の第2剤 少量では 問題なし 2口（10ml）以下 では様子を見る	1剤は 吐かせない	牛乳コップ半分位 飲ませて受診 皮膚を石鹸でよく 洗う。 2口（10ml）以下 牛乳を飲ませて 様子を見る	口の中～のどの痛み 嘔吐・腹痛・下痢 大量では、顔やのどが 腫れて呼吸困難 腎障害や血液障害 眼に入ると痛み・刺激感 充血 大量では 口の中～のどの痛み 吐き気・嘔吐・ おなかが張った感じ	直後～	
石鹸	浴用 化粧用 薬用 洗濯用 など 固形 クリーム状 液体 粉末 など	低い 大量に食べたか 症状あれば 受診 大量の場合 吐かせて 受診	特になし	1口程度なら 牛乳を飲ませて 様子をみる	吐き気・嘔吐・ のどの痛み・口の中の ただれなど 腹痛や下痢		
シャボン玉液	使った洗剤による 容器の表示確認	低い 大量に飲んだ 咳こむ 吐いた などの症状が あれば受診		牛乳を飲ませる 眼に入ったら 流水で洗う	のどの痛み・吐き気・嘔 腹痛・下痢 眼に入ると痛み・涙 充血	直後～	
入れ歯洗浄剤 （義歯洗浄剤）	酵素入りポリデント デントフリー ニソーデント ポリデント ライオデント など	毒性は強くない 少量かじる・ 溶かした液少量 の場合 様子をみる 大量に食べたか 症状がある 場合、受診 左記の商品以外 のものを飲んだ 場合、受診 （商品の箱持参）	特になし	牛乳や卵白を 飲ませる	口の中やのどの痛み 吐き気・嘔吐・おなかが 張った感じや不快感・ 腹痛や下痢	直後～	
浴用剤 入浴剤		少量や 溶かした液 の場合 問題なし 原液・粉末 など大量に 食べた場合 受診	特になし		下痢・腹痛		